

資料の情報と釈文

三・民撰議院設立建白書

展示資料：民撰議院設立建白書（序文）

請求番号：建 00012100

デジタルアーカイブ URL：<https://www.digital.archives.go.jp/img/L/3055896>

釈文の凡例については、[こちら](#)をご覧ください。

【釈文】

某等別紙奉建言候次第、
平生ノ持論ニシテ、某等在官中
屢及建言候者モ有之候処、
欧米同盟各国へ大使御
派出ノ上、実地ノ景況ヲモ御
目撃ニ相成、其上事宜斟酌
施設可相成トノ御評議モ
有之。然ルニ最早大使御帰
朝以来既ニ数月ヲ閲シ候得
共、何等ノ御施設モ拝承不
仕、昨今民心洶々上下相疑、
動スレバ土崩瓦解ノ兆無之ト
モ難申勢ニ立至候義、畢
竟天下輿論公議ノ壅塞
スル故ト実以残念ノ至ニ奉
存候。此段宜敷御評議ヲ可
被遂候也。

明治七年第一月十七日

高智県貫属士族

古 澤 迂 郎

高智県貫属士族

岡 本 健 三 郎

名東県貫属士族

小 室 信 夫

敦賀県貫属士族

左院
御中

由利公正

佐賀県貫属士族

江藤新平

高知県貫属士族

板垣退助

東京府貫属士族

後藤象次郎

佐賀県貫属士族

副島種臣

(後略)